

を 長崎南山小学校学校生活だより令和3年4月号担当(山田) NO.99

火ばさみとナイロン袋

自宅から南山小学校まで片道約25kmの道のり。毎日のように同じ時刻に出発し、同じルートで通勤していると、交差点や信号機、何らかの施設や建物など同じ場所は、ほぼ同じ時刻に通過します。また、バス停に立っている人やランニングをしている人など、どこの誰か名前も分からなくても一方的に顔見知りになる人もいます。

毎朝見かける人たちの中で、ふたりの高齢者の男性を紹介したいと思います。ひとりは60代後半か70代前半、もうひとりは、おそらく70代後半のように見受けられます。それぞれ違った場所で見かけるこのふたりの男性には共通点があります。ふたり共、片手に火ばさみを、もう一方にはナイロン袋を持ち、一生懸命にゴミを拾いながら歩いているのです。さすがに大雨の日には出会いませんが、少々天気が悪くても、もう何年も続けているようです。長年勤めた仕事をリタイヤし、「さあ、これからどう生きようか」と考えたときにゴミ拾いのボラ

ンティアを思いつき, 自分にできる社会貢 献を始めたのかもし れません。

仕事をリタイヤし た年齢層であれば、 まだ寝ているか、そ ろそろ起き上がって テレビでも見ている



か,あるいは家族でゆっくりと朝ご飯を食べていてもおかしくない時間帯です。自分が落として散らしたわけでもないゴミを一生懸命に拾い,それを毎日続けているこのふたりの男性には,誰かに褒めてもらおう,この奉仕の心を見てもらおうという気持ちなどは微塵もないは

ずです。ただ、まだまだ人の役に立ちたいという気持ちから自分にできることを考え、自分が住んでいる地域のために、この美しい行いを毎朝実践しているのだと思います。

「高学年の人でお手伝いのできる人は, すぐ に体育館に集まってください」

入学式の前日の朝,体育館のパイプ椅子出しを手伝ってもらおうと2回くり返して放送し,すぐに体育館に向かいました。体育館シューズに履き替え,中に入ってみて,びっくりしました。6年生のほとんどが集まり終えていて,作業の指示を待っていたのです。その日,運動場を使用できる5年生も遊びを犠牲にして何人も集まってくれていました。おかげであっという間に椅子出しの作業を終えることができました。

一輪車で楽しく遊んだ後の片付け作業,下段なら小さな低学年でも簡単に直せますが,中段や上段となると,結構時間がかかります。先日,困っていた女の子に,「ぼくが片付けてやるよ」と当然のように手をかして片付けてくれていた男の子を見かけました。新学期になってからは,1台も散らからないで,いつもきちんと片付いている一輪車です。その陰には,こういった思いやりの心も隠れていたのだなとうれしくなりました。

令和3年度が始まって4週間目に入っています。自分にできることを、学校のために、みんなのために一生懸命に頑張ってくれている子どもたちです。たとえ、誰かに気付いてもらえなくても、褒めてもらえなくても、これからも隠れた善い行いを実践できる素敵な南山っ子であってもらいたいと思います。

南山小学校のきまり

朝の車は第1駐車場まで!

朝の8時前頃になりますと、スクールバスから降りて学校に向かう子どもたち、徒歩で登校してくる子どもたちで校舎の前はとても賑やかです。

南山小学校には、子どもたちが多方面から 通学しており、保護者に送ってもらっている 子も多くいます。安全のために、朝、自動車で 送って来られる場合は体育館前の第1駐車場 で降ろしてくださるようにお願いをしていま す。ご協力をよろしくお願いいたします。 帰りのお迎えは、校舎前の第2駐車場も利用 できます。

電話通知(x) 直接職員室に(○)

放課後ののびのび教室に参加しているお子様をお迎えするときは,直接職員室にお迎えの声をかけてくださるようにお願いします。 お子様を保護者に,安全にそして確実に渡すように学校では考えています。

「もしもし○○です。まもなく迎えに行きますので,下りて待っているように伝えてください。|

「もしもし,迎えに来ましたので,下りてくるように言ってください。」

などの電話での通知はご遠慮ください。また, 朝の登校時に,

「今日は5時に迎えに来るから,駐車場のところで待っておくのよ。」

などと言い渡しておくのもご遠慮ください。

安全・確実なお迎えにご協力をお願い致し ます。

命命 教室紹介命命

6年1組 担任 野川 知彦 先生

園での生活から小学校での生活リズムに大きく変わった4月の1年生ですが、その1年生に負けないくらいに、いやそれ以上に大きな変化を見せ、成長しているのが6年生です。お世話をする1年生ができたこと、最高学年になったことなどの身のまわりの環境の変化が6年生の心を大きく成長させているようです。

6年1組の子どもたちも朝早くから1年生の教室に向かい、朝の準備を手伝ってあげたりいっしょに遊んであげたりしています。自分のことよりもパートナーの1年生のことを第一に考えて行動している姿を見ると、ほのぼのとした温かい気持ちになってきます。

委員会活動や行事の準備などに取り組む生き生きとした様子からも,最高学年としての自覚が感じられます。

担任の野川先生は、仲間を大切にする心、人のことを思って行動のできる心を大切にし、感謝・感動・完全燃焼の気持ちを現せる6年生に成長して欲しいと願っています。



♪ぶどうの木

※ぶどうの木 それはわたし あなたたち それはえだ 主のみことば 1 えだがつながって いなければ めもでない みもならない かれてしまい やかれるだけ ※ 2 えだがつながって いるならば ていれされ みをむすぶ ゆたかになり みなよろこぶ ※